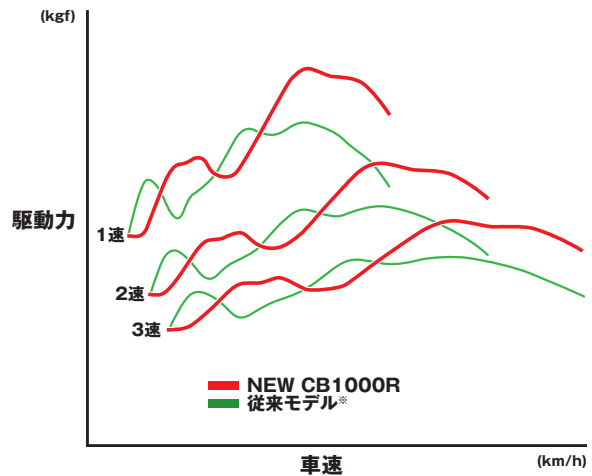


●ギアレシオ変更

主に欧州の公道で加減速を多用する速度域において、もっともトルクが上昇する6000~8000rpmが味わえるギアレシオとするために、従来モデル\*よりトータルで約4%ローレシオ化。これにより、新しいCB1000Rは1~3速まで公道のスピード領域においてCBR1000RRより高い駆動力を獲得し、公道走行での高揚感を実現しています。

■駆動力曲線比較イメージ図



※ 国内未発表、欧州向けモデル

●クイックシフター

公道で気持ちよく吹け上がる設定のギアレシオを、より充実したライディング体験につなげるよう、新しいCB1000Rにはクイックシフターを標準装備しました。発進、停止時以外のクラッチレバー操作が不要となることで、ライダーは、よりスロットルグリップとブレーキ操作に集中できます。

シフトロッドに配置したストロークセンサーはCBR1000RRと同じ物を採用しました。シフトペダルの操作荷重をストロークセンサーが電気信号に変換。その際のグリップ開度、エンジン回転数、車速、シフトドラム回転角、点火時期など各情報から適切な駆動荷重に制御することで変速を行います。

シフトアップ時には高揚感のある加速フィールを途切らせることなく、シフトダウン時にはエキスパートライダーのようなブリッピングを自動的に行います。これにより、ワインディングなどではより充実した走りを、また、市街地ではスムーズな変速を実現しました。

■クイックシフター制御イメージ図

